



株式会社 **乃村工藝社**

2016年度(平成29年2月期)第2四半期決算補足資料

# 1. 2016年度 第2四半期 決算概要

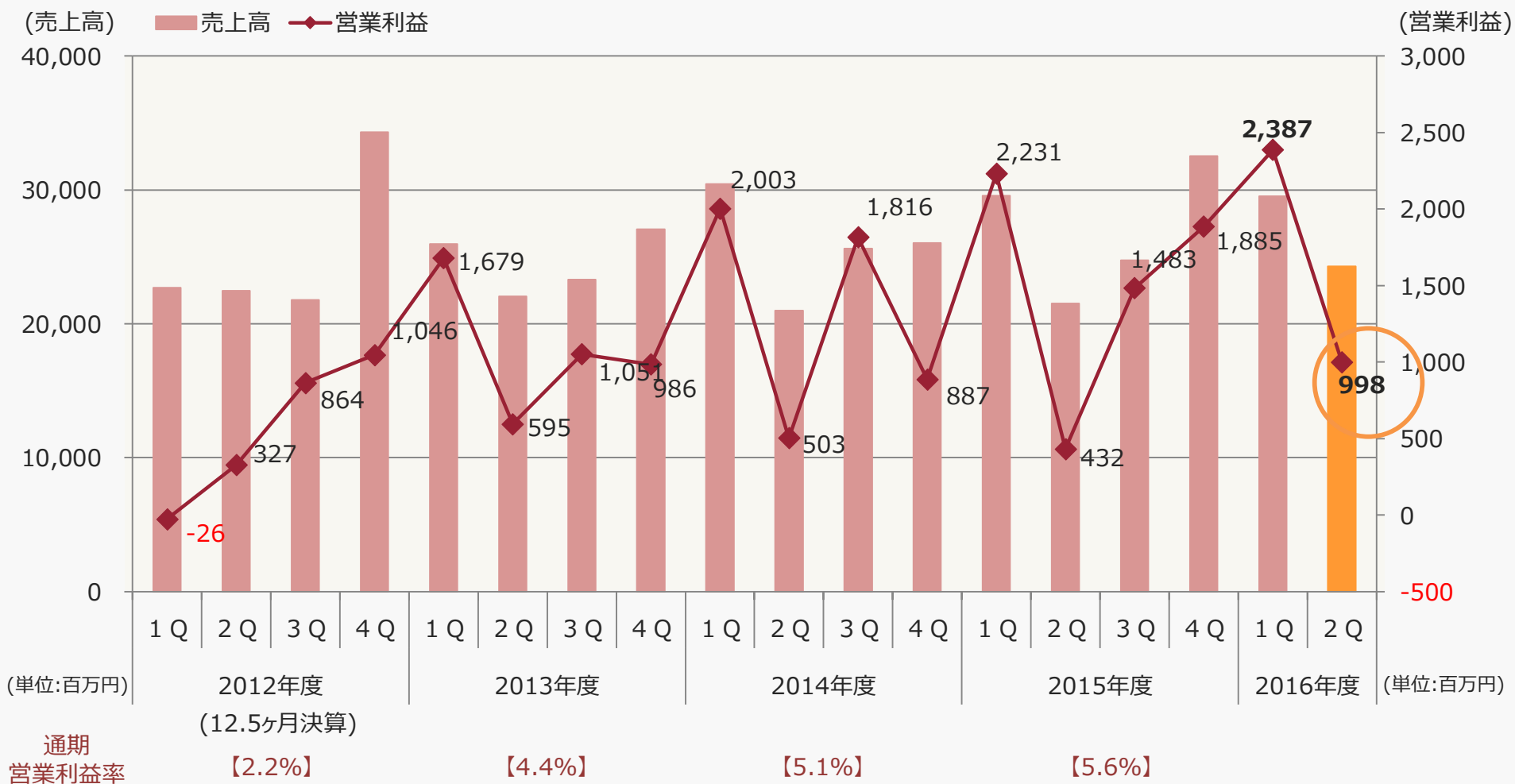
# 2016年度 第2四半期 連結業績ハイライト

- 売上1億円以上の大型案件が増加したことなどにより、前年同期に比べ増収となった
- 売上の増加、大型案件の採算性の向上により前年同期に比べ総利益率が良化、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益となった

＜第2四半期＞ (単位:百万円)	2015年度	2016年度		
	実績	期初予想	実績	前年同期比
売上高	51,062	53,500	<b>53,827</b>	5.4%
営業利益 (率)	2,664 (5.2%)	2,700 (5.0%)	<b>3,385 (6.3%)</b>	27.1%
経常利益 (率)	2,774 (5.4%)	2,800 (5.2%)	<b>3,470 (6.4%)</b>	25.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益(率)	1,606 (3.1%)	1,700 (3.2%)	<b>2,242 (4.2%)</b>	39.6%

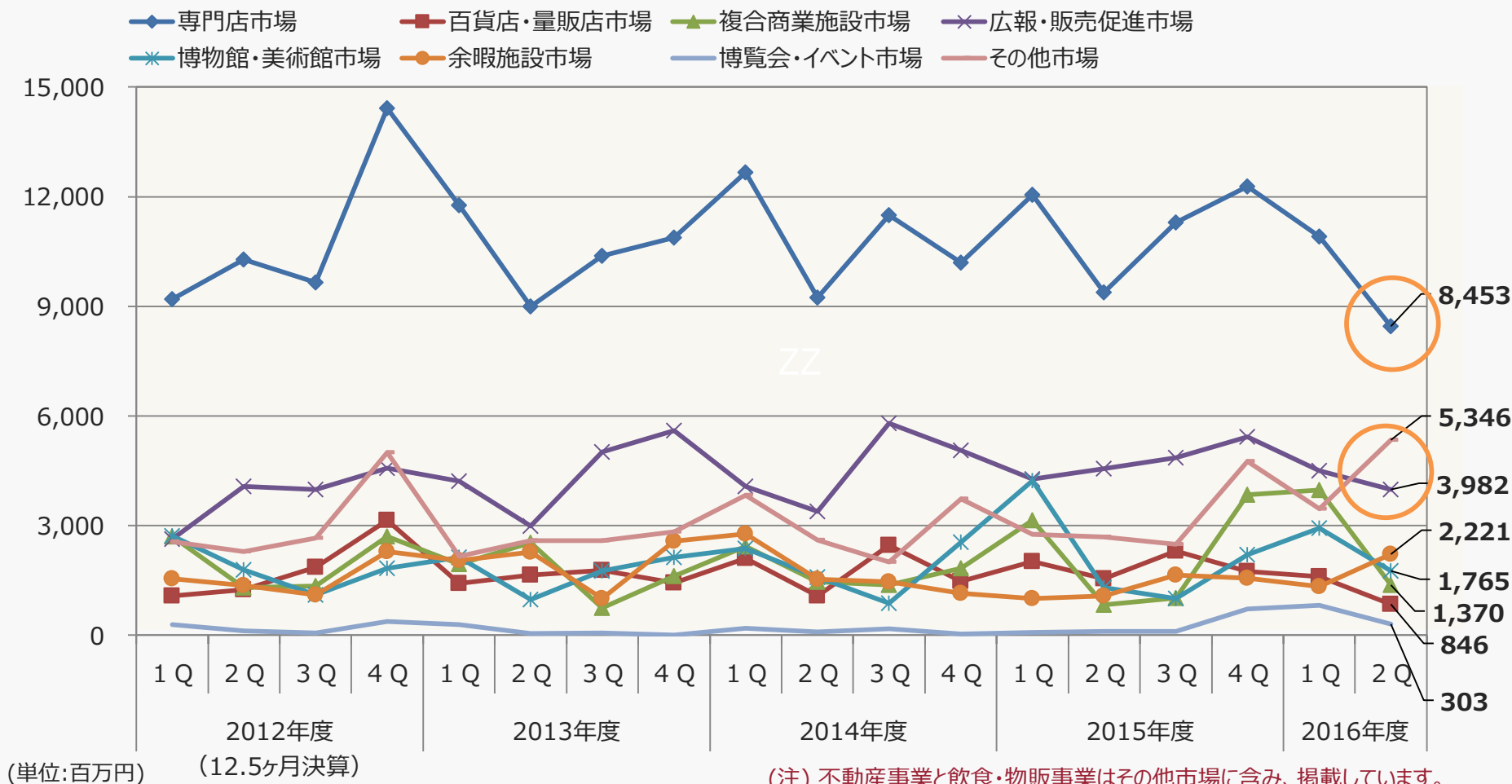
# 売上高・営業利益の四半期推移

- 第2四半期は余暇施設市場、その他市場を中心に大型案件の売上計上により、前年同期に比べ増収となった  
同市場分野の総利益が増加したことなどにより営業増益となった



# 市場分野別売上高の四半期推移

➤ 第2四半期の市場分野別の状況は、前年同期に比べ大型案件の計上が少なかった専門店市場、広報・販売促進市場が減少したものの、オフィス、ブライダル施設などの大型案件を計上したその他市場が伸長した



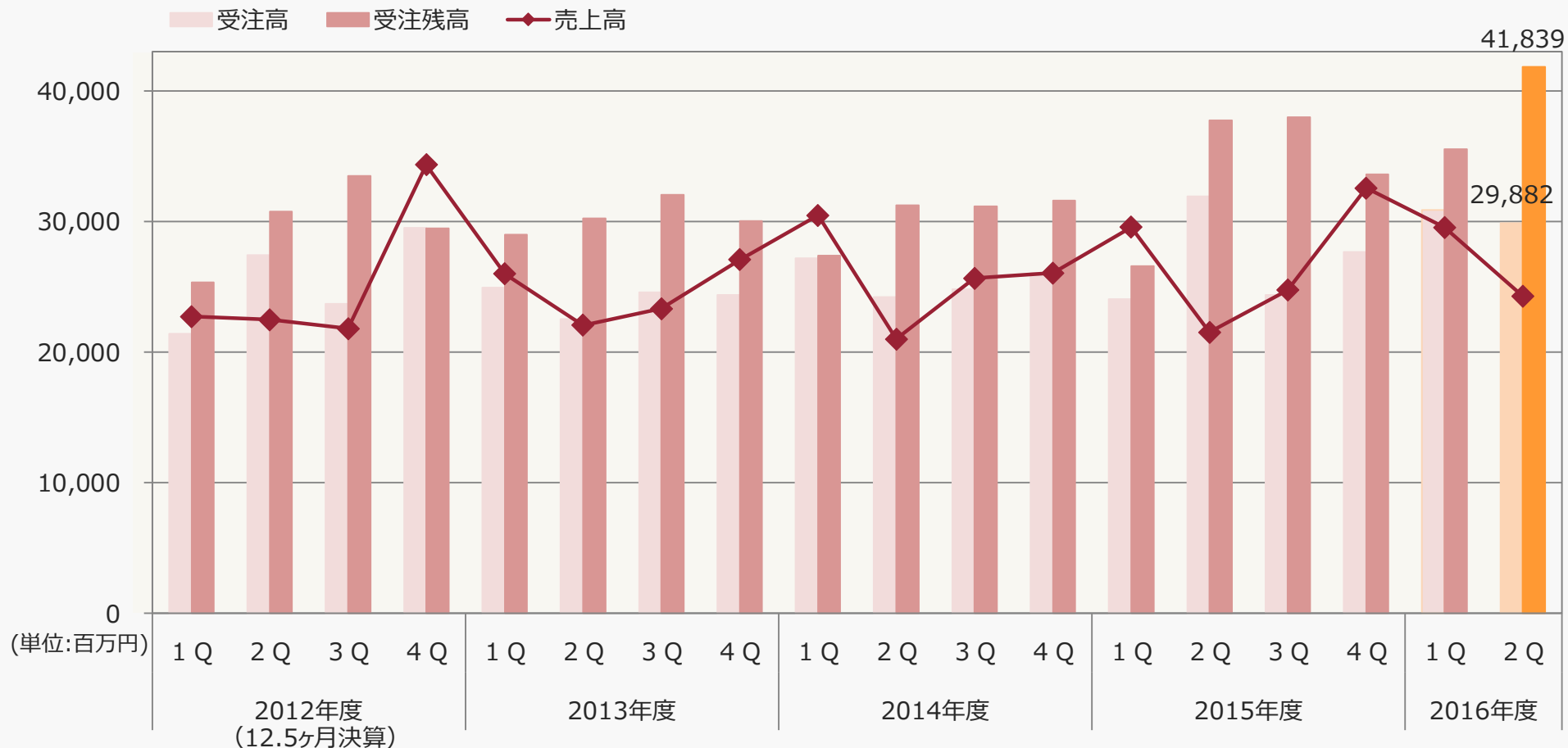
(注) 不動産事業と飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。  
 なお、2014年度より不動産事業は子会社の売却により除外しています。

# 市場分野別の状況

＜第2四半期＞ (単位:百万円)	2015年度		2016年度		売上構成率		ポイント
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	前期	当期	
専門店市場	21,438	△2.2%	<b>19,361</b>	△ <b>9.7%</b>	42.0%	36.0%	書店やモバイル・デジタル店舗の什器・改装のほか、アパレルブランド、インポートブランドの店舗改装を多数手掛けたものの、前年同期の大型案件の計上の影響などにより減収
百貨店・量販店市場	3,564	12.1%	<b>2,448</b>	△ <b>31.3%</b>	7.0%	4.5%	首都圏、関西圏の百貨店および量販店の店舗改装を手掛けたが、百貨店の改装需要の減少により前年同期に比べ減収
複合商業施設市場	3,979	2.0%	<b>5,340</b>	<b>34.2%</b>	7.8%	9.9%	主要駅に隣接する商業施設の改装を多数手掛け、前年同期に比べ増収
広報・販売促進市場	8,834	18.3%	<b>8,485</b>	△ <b>4.0%</b>	17.3%	15.8%	電機、住宅関連メーカー等のショールームや食品メーカーの周年事業の展示制作を手掛けたが、大型案件の計上が少なく前年同期に比べ減収
博物館・美術館市場	5,539	39.6%	<b>4,700</b>	△ <b>15.1%</b>	10.8%	8.7%	琵琶湖博物館などの社会教育施設や複合文化施設の新装・改装が完工をむかえたが、前年同期に比べ減収
余暇施設市場	2,076	△51.8%	<b>3,560</b>	<b>71.4%</b>	4.1%	6.6%	ホテル改装のほか遊園地などのアミューズメント施設の改装需要が伸びていることから、前年同期に比べ増収
博覧会・イベント市場	178	△36.1%	<b>1,124</b>	<b>531.1%</b>	0.3%	2.1%	ミラノ万博の計上に加え、国際的な政治イベント、公共イベントを手掛けたことにより、前年同期に比べ大幅な増収
その他市場	4,187	△19.2%	<b>7,465</b>	<b>78.3%</b>	8.2%	13.9%	オフィス、ブライダル施設や研修施設、社員食堂など福利厚生施設を多数手掛け前年同期に比べ大幅な増収
ディスプレイ事業 小計	49,799	△0.8%	<b>52,488</b>	<b>5.4%</b>	97.5%	97.5%	
飲食・物販事業	1,262	1.2%	<b>1,339</b>	<b>6.1%</b>	2.5%	2.5%	当社が改装を手掛けた施設への新規出店等もあり、前年同期に比べ増収
合 計	51,062	△0.7%	<b>53,827</b>	<b>5.4%</b>	100.0%	100.0%	

# 受注高・受注残高の四半期推移

- 第2四半期の受注高は、前年同期に大型案件の受注が重なっていたため減少
- 受注残高は、上期に複合商業施設市場、博物館・美術館市場、余暇施設市場、その他市場などにおいて大型案件が積みあがったため前年同期に比べ大きく増加した



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

# 市場分野別の受注高・受注残高の状況

- ▶ 受注高は、前年同期に大型受注のあった専門店市場等が減少したものの、大型商業施設や駅ビルの改装需要が伸びた複合商業施設市場、オフィスや研修施設などの大型案件を複数受注したその他市場の増加により、前年同期に比べ8.6%の増加
- ▶ 受注残高は、駅隣接の大型商業施設の改装案件を抱える複合商業施設市場のほか、余暇施設市場におけるホテルやアミューズメント施設の改装案件、その他市場におけるオフィス、研修施設、空港施設等の大型案件が受注になっており、前年同期に比べ10.9%の増加となった

＜第2四半期＞  
(単位:百万円)

	2015年度		2016年度		受注高 前年同期比 増減率	受注残高 前年同期比 増減率
	受注高	受注残高	受注高	受注残高		
専門店市場	24,533	12,934	<b>20,023</b>	<b>10,392</b>	△18.4%	△19.7%
百貨店・量販店市場	3,997	1,845	<b>2,452</b>	<b>930</b>	△38.7%	△49.6%
複合商業施設市場	4,136	4,180	<b>8,374</b>	<b>7,534</b>	102.5%	80.2%
広報・販売促進市場	10,815	5,254	<b>8,957</b>	<b>3,765</b>	△17.2%	△28.3%
博物館・美術館市場	4,608	6,210	<b>5,909</b>	<b>7,192</b>	28.2%	15.8%
余暇施設市場	2,887	1,990	<b>4,718</b>	<b>4,483</b>	63.4%	125.3%
博覧会・イベント市場	737	1,276	<b>871</b>	<b>422</b>	18.2%	△66.9%
その他市場	4,241	4,035	<b>9,436</b>	<b>7,118</b>	122.5%	76.4%
合 計	55,957	37,727	<b>60,743</b>	<b>41,839</b>	8.6%	10.9%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。



# 売上総利益率の四半期推移

➤ 第2四半期の総利益率は、専門店市場、余暇施設市場、その他市場において、大型案件の原価率低減策の効果により、前年同期に比べ1.2ポイント向上し18.2%となり、第2四半期としては高い水準を確保した



通期

売上総利益率

【13.6%】

【16.2%】

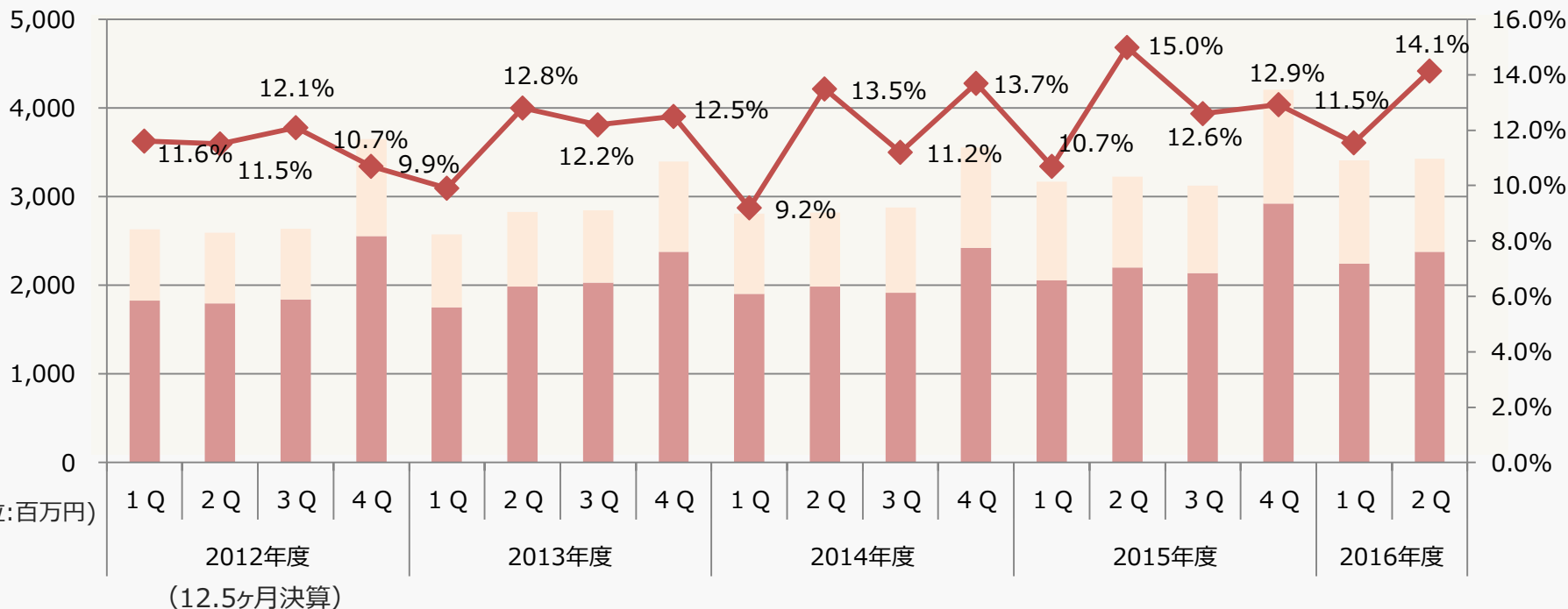
【16.8%】

【18.2%】

# 販売管理費の四半期推移

➤ 第2四半期の販売管理費は、人員、賞与の増加による人件費の増加、事務所賃料の増加による経費の増加があった

経費 人件費 販売管理費比率



通期  
販売管理費比率

【11.4%】

【11.8%】

【11.7%】

【12.7%】

経費	805	795	793	1,091	824	842	819	1,016	907	834	960	1,136	1,111	1,021	985	1,284	1,166	1,051
人件費	1,829	1,797	1,842	2,556	1,749	1,984	2,030	2,379	1,903	1,988	1,917	2,420	2,055	2,204	2,139	2,924	2,244	2,380
販管費計	2,635	2,593	2,635	3,657	2,574	2,826	2,849	3,395	2,811	2,823	2,878	3,556	3,167	3,226	3,124	4,208	3,411	3,432

(単位:百万円)

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)		2015年度	2016年度 第2四半期	前期末比 増減額(率)		ポイント
資 産	流動資産	49,670	<b>45,424</b>	△4,245	△8.5%	売上債権の回収による現金及び預金の増加や前渡金増加があったものの、売掛金の回収による売上債権の減少、工事完工にともなうたな卸資産の減少により、前期末に比べ42億45百万円の減少
	固定資産	15,586	<b>15,312</b>	△273	△1.8%	買収によるのれんの発生、システム・IT投資による無形固定資産の増加があったが、減価償却の実施、投資有価証券の時価減少により前期末に比べ2億73百万円の減少
	資産合計	65,256	<b>60,736</b>	△4,519	△6.9%	
負 債 純 資 産	流動負債	27,724	<b>22,671</b>	△5,053	△18.2%	前受金、賞与引当金の増加があったものの、仕入債務の減少、未払金の減少などにより、前年同期に比べ50億53百万円の減少
	固定負債	5,911	<b>6,007</b>	95	1.6%	退職給付に係る負債の繰入の増加などによるもの
	負債合計	33,636	<b>28,678</b>	△4,957	△14.7%	
	純資産	31,619	<b>32,058</b>	438	1.4%	配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により前期末に比べ4億38百万円の増加
	負債純資産合計	65,256	<b>60,736</b>	△4,519	△6.9%	

# 連結損益計算書

＜第2四半期＞ (単位:百万円)	2016年度		前年同期比 増減額(率)		ポイント
	2015年度	2016年度			
売上高	51,062	<b>53,827</b>	2,765	5.4%	大型商業施設、駅ビル等の改装需要の旺盛な複合商業施設市場に加え、ホテルやアミューズメント施設等の完工があった余暇施設市場、プライダル施設、研修施設等の完工があったその他市場が伸長し5.4%の増収となった
売上総利益(率)	9,058 (17.7%)	<b>10,229 (19.0%)</b>	1,171	12.9%	売上高の増加と徹底した原価率低減策の実施により総利益率が1.3ポイント向上した
販売管理費(率)	6,393 (12.5%)	<b>6,844 (12.7%)</b>	450	7.0%	採用による人員増加、賞与引当金の増加による処遇向上、事務所賃料増加などにより7%の増加
営業利益(率)	2,664 (5.2%)	<b>3,385 (6.3%)</b>	721	27.1%	販売管理費の増加があったものの、収益性の改善施策による総利益の増加により、前年同期に比べ27.1%の増益となった
経常利益(率)	2,774 (5.4%)	<b>3,470 (6.4%)</b>	695	25.1%	営業利益の増加により前年同期に比べ25.1%の増益となった
特別利益	—	<b>1</b>	1	—	
特別損失	146	<b>2</b>	△143	△98.1%	前年同期はグループ子会社の事業構造改善費用を計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益(率)	1,606 (3.1%)	<b>2,242 (4.2%)</b>	636	39.6%	経常利益増加により、前年同期比39.6%の増益

# 連結キャッシュ・フロー計算書

＜第2四半期＞ (単位：百万円)	2015年度	2016年度	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,688	<b>4,362</b>	仕入債務の減少、賞与支給による未払金の減少、税金納付等があったものの、税引前四半期純利益の増加などにより43億62百万円の収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	△ <b>264</b>	システム・IT投資や買収による株式の購入等があり、2億64百万円の支出となった 前期は、投資有価証券の償還による収入があった
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,801	△ <b>1,763</b>	配当の支払いにより、17億63百万円の支出 前年同期との比較では、増配による配当の支払が増加したものの、前年同期は海外グループ会社の借入金の返済の支出があったため、当第2四半期は支出が37百万円減少
現金及び現金同等物の増減額	1,921	<b>2,300</b>	
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,426	<b>20,805</b>	現金及び現金同等物は、期首残高から23億円増加し、208億5百万円となった

# 2016年度 連結業績予想

- 最高売上高の更新および営業利益・経常利益の8期連続の増益・4期連続の最高益更新、当期純利益の最高益更新を目指す
- 第2四半期の業績予想を修正するとともに、2016年度通期の業績予想の上方修正、配当予想の修正をおこなった

(単位:百万円)	2015年度		2016年度		ポイント
	実績	前期比	予想	前期比	
売上高	108,340	5.1%	<b>115,000</b>	6.1%	引き続き採算性を重視した受注をおこなうものの、現時点の受注環境は堅調であり、前期に比べ6.1%の増収を計画している
総利益(率)	19,760 (18.2%)	14.3%	<b>21,800 (19.0%)</b>	10.3%	売上高の増加、原価低減策の継続により総利益は増加する計画
販売管理費(率)	13,726 (12.7%)	13.7%	<b>14,800 (12.9%)</b>	7.8%	人員増による人件費の増加、システム・IT関連等の経費の増加を見込んでいる
営業利益(率)	6,033 (5.6%)	15.8%	<b>7,000 (6.1%)</b>	16.0%	販売管理費は増加するものの、売上高の増加および採算性の向上により増益を計画している
経常利益(率)	6,200 (5.7%)	14.1%	<b>7,100 (6.2%)</b>	14.5%	営業利益、経常利益とも4期連続の最高益更新を目指す
親会社株主に帰属する 当期純利益(率)	3,841 (3.5%)	20.3%	<b>4,500 (3.9%)</b>	17.1%	最高益更新を目指す
1株当たり当期純利益		69.05円		<b>80.89円</b>	
1株当たり配当金		30.00円		<b>(予想) 38.00円 (記念配当2円含む)</b>	配当性向40%以上を方針として、高い株主還元を実現する
ROE (自己資本当期純利益率)		12.5%		<b>12.5%以上</b>	利益の向上および増配・自社株買い等の資本政策の検討を適宜おこないROE12.5%以上を維持する

(注) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. 中期経営計画と今後の展開について

## 1. ブリュッセル・フラワーカーペット

当社グラフィックデザイナーが日本人初フラワーカーペットのデザイナーに

- ・ 開催期間：2016年8月12日～15日
- ・ 開催場所：ベルギー首都  
ブリュッセルの世界遺産グランプラス
- ・ 4日間の来場者：約10万人
- ・ 概要：  
2年に一度開催のブリュッセル・フラワーカーペット  
今年は日・ベルギー友好150周年にあわせ  
日本がテーマ

当社・鈴木不二絵デザイナーが  
「花鳥風月」をテーマにデザイン  
(実施設計：Marc Schautteet)



ANA機内誌「翼の王国」  
10月号に掲載



## 2. パラ・パワーリフティング 西崎哲男選手

当社所属、パワーリフティング（ベンチプレス）の西崎哲男選手が「リオ2016パラリンピック競技大会」日本代表として出場

アスリート企業支援の成功事例としても多くのメディアで紹介

### 【試合結果】

「リオ2016パラリンピック競技大会」

- ・ 日時：現地時間2016年9月9日午後1時  
（日本時間 同年9月10日午前1時）
- ・ 場所：ブラジル・リオデジャネイロ
- ・ 種目：パワーリフティング 男子54kg級
- ・ 記録：なし

### 【選手プロフィール】

- ・ 氏名：西崎 哲男（にしざきてつお）
- ・ 競技種目：パワーリフティング  
下肢障害者の部・54kg級
- ・ 2014年11月に入社、当社として初めてアスリート採用した選手。



西崎哲男（所属：株式会社乃木製作） 写真：NPO法人STAND／竹見脩吾

- 1 景気変動に強い事業部門の強化・拡大**
- 2 顧客上流部門へのクロスセリングによる商品提供**
- 3 原価低減の仕組みの強化・拡大・推進**  
—ノムラトレーニングセンターの本格稼働
- 4 コンプライアンスの遵守**  
**コーポレートガバナンスの充実**

# 市場環境について

観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に  
政府施策①地方創生

当社事例

世界文化遺産の保存活用や、  
地域の集客に貢献する施設の  
空間づくりから活性化までおこなう



世界文化遺産 国宝・姫路城



京都鉄道博物館

観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に  
政府施策②インバウンド

当社事例

旅行者の訪れる空間や施設の品質  
を高めたり、感動を与えるデザイン・  
設計、施工をおこなう



ヒルトン福岡シーホーク



西武渋谷店エントランスリニューアル

すべての旅行者が、ストレスなく 快適に観光を満喫できる環境に  
政府施策③インフラ整備

当社事例

空港や駅などの機能強化のリニューアル  
だけでなく、おもてなしの要素を織りま  
ぜたデザイン・設計、施工をおこなう



JAL 新千歳空港国内線ラウンジ



博多エキナカ『マイング』(マイング広場)

(注) 顧客・案件名は転記・使用禁止

当社グループの空間や体験の場づくり及び全国ネットワークを活かし、さらなる需要の創出が期待できる

## 【VR/AR市場を含めたデジタルテクノロジー関連における当社グループの対応】

- 対応① より高度なクリエイティブでお応えするため、デジタルテクノロジーを活用する専門組織を設置  
対応② デジタル演出の企画制作だけでなく、運営メンテナンスまで総合的なソリューションを提供

当社事例

ARを活用した携帯端末による  
展示ガイドアプリの制作



世界文化遺産 国宝・姫路城

当社事例

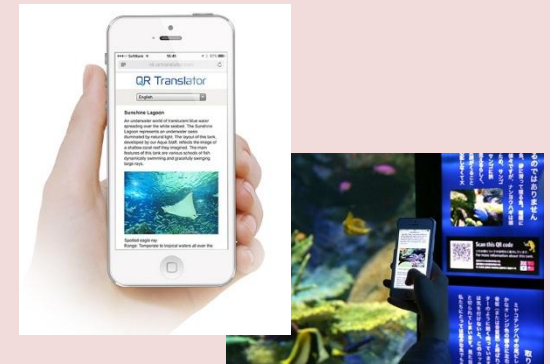
リアルとデジタル（VRや最新技術）を  
融合した空間演出をプロデュース



SKY CIRCUS サンシャイン60展望台

当社事例

展示情報の多言語化ツールを  
キャラクターデザインまで対応

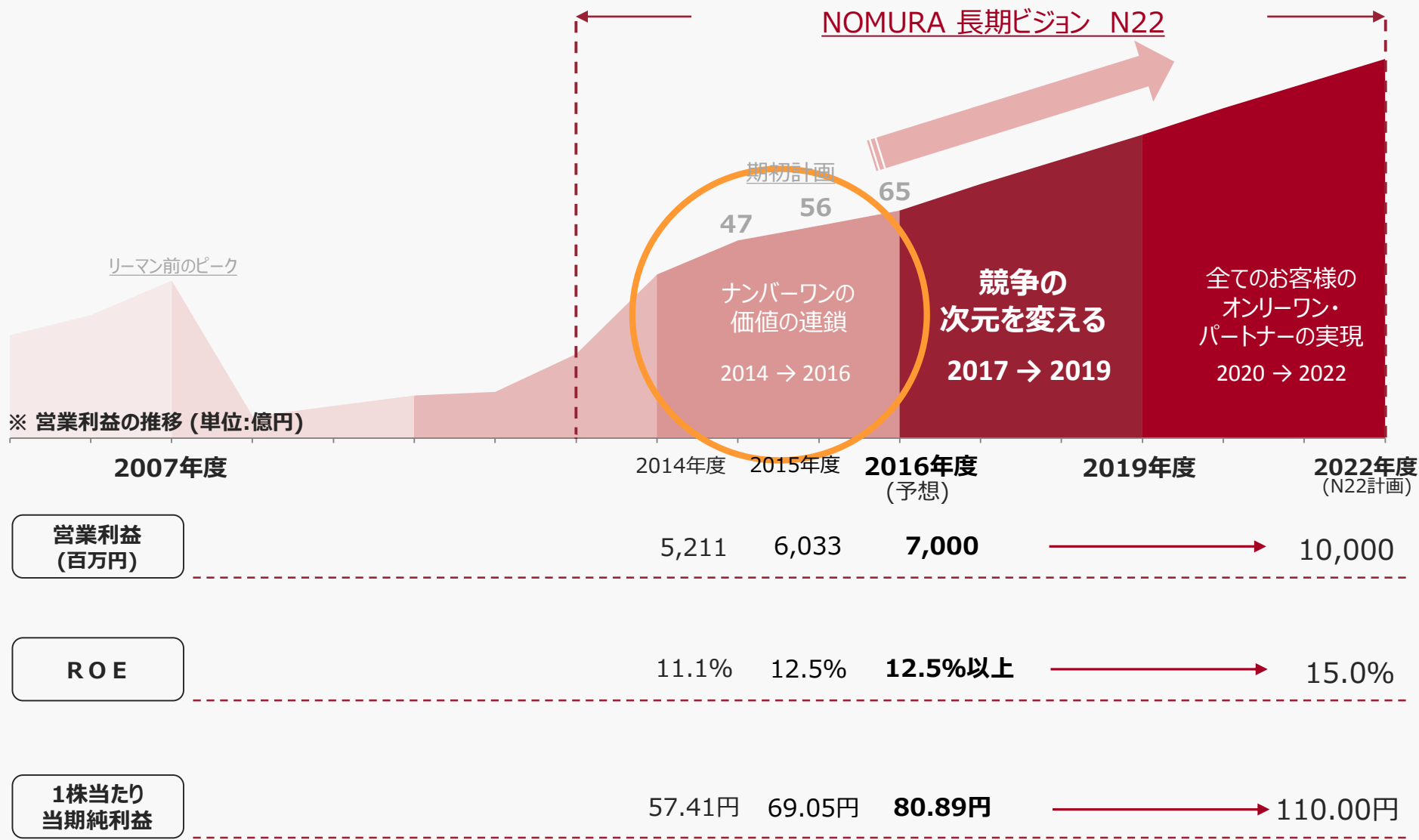


サンシャイン水族館QRトランスレーター導入

(注) 顧客・案件名は転記・使用禁止

「デジタルテクノロジーとリアルな空間づくり」をテーマに、  
教育、スポーツ、文化、エンターテインメントなど幅広い分野での需要創出が期待できる

# 持続的成長のロードマップ



(注) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。